

# 議員全員協議会

日 時	令和 7 年 12 月 15 日 (月) 開会中	11時24分 開会 12時05分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 大会議室	
出席議員	議長 16 番 原口康之 副議長 15 番 谷口恵世	
	1 番 中山尚大	2 番 篠崎朗子 3 番 荻田信行
	4 番 畑 政之	5 番 出縄耀戸 6 番 菅沼保弘
	7 番 鈴木長馬	8 番 石山和生 9 番 絹村智昭
	10 番 名波和昌	11 番 加藤 彰 12 番 木村正利
	13 番 松下定弘	14 番 濱崎一輝
欠席議員		
事 務 局	局長 前田明人 次長 浅井大典 総括主幹 原口 亨 書記 増田 奈菜子	
説 明 員		
傍 聴		

署名 議長

---

[午前 11時24分 開会]

---

### 開会の宣告

#### ○議長（原口康之君）

それでは補正予算と委員会付託、ご苦労さまでした。引き続き、全員協議会を行います。それでは開会いたします。

---

### 2 協議事項 (1) 議員間討議について

#### ○議長（原口康之君）

協議事項として、議員間討議として12月11日の全員協議会での当局からの報告及び質疑を踏まえて、議員間討議を行いたいと思います。

本日に関しては、あくまでも報告と質疑を踏まえてというところで、1期生に関しては前回の全員協議会の中で概要というか、この台風15号の概要についての説明も当局からあったと思います。その辺を踏まえてお願いできたらなと思います。それで、あくまでもこれは議会運営のことではなくて、この台風被害というところでお願いをしたいと思います。

では、皆さんから意見のほうをお願いします。

それと言い忘れてましたが、今後の要望についての内容というところにも、これから入っていきたいと思いますので、その部分を踏まえてお願いをいたします。

石山議員。

#### ○8番（石山和生君）

もうちょっと整理しようと思うんですけど、ここで話したことを要望書に書くための、なので我々議員が質問をした上で、こういうことを市にやってほしいと思っていることを、自分の意見を述べていいと、そういう場という理解でいいですか。

#### ○議長（原口康之君）

大丈夫です。

濱崎議員。

#### ○14番（濱崎一輝君）

それに関連なんですけど、別にできる、できないは別としてという、要望ということでもいいんですか。

#### ○議長（原口康之君）

はい。

#### ○14番（濱崎一輝君）

分かりました。

#### ○議長（原口康之君）

石山議員。

#### ○8番（石山和生君）

私から、要望書、今回、質疑もしましたが、一部損壊のところを、少なくとも、ちょっとでも何か義援金、県や国の義援金があるとは言いましたが、要望として一部損壊の方々にも、何かお金が、支援が入るようなことができないかという要望は、出したほうがいい

かなと。

もちろん、収支のバランスもあるのであれですが、とはいえ、やっぱり今、一部損壊以外は支援ありという状況になるのかなとと思っているので、それは自分の、個人としてはそういうことを思っています。

以上です。

**○議長（原口康之君）**

篠崎議員。

**○2番（篠崎朗子君）**

今、補助金がほぼ国と県から出ている状態は分かっているんですけども、恐らくこれでは多分足りないということで、本当に財政的に無理難題であることは承知の上で、市独自の補助というところも考慮していただければなと思っています。要望としてお願いします。

**○議長（原口康之君）**

石山議員。

**○8番（石山和生君）**

それは既にあるものにプラスでという意味ですよ。分かりました。

**○議長（原口康之君）**

濱崎議員。

**○14番（濱崎一輝君）**

それに関連するところもあるんですけども、この間、私、質問させてもらった中で、建物の再建に当たってというところで、いろんな人から相談というか話を聞いている中で、やっぱり建物が、建てたくても建てられない場所というのがあるものですから、そういったところの建築不可物件というのがあるんですけども、そういったものに関しては、市だけでは対応できないものですから、国とか県のほうに対応してもらわないとできないというのもあるものですから、一件一件というよりも、面で、その地域でというところ辺での検討というのが必要かなと思うものですから、そこに関しては、県への働きかけというのは、ぜひやっていただきたいというのもありますし、あと解体とか、最近の補助というところでいうと、市のほうでは、解体費に関しては全壊のみ対象になっていますけれども、大規模半壊とか中規模半壊、半壊に関しては支援がないという状況なので、生活支援金という形での補助はありますけれども、それでは全然足りないということで何とかしてほしいということを聞いているものですから、そこに対する今やっている上乗せ補助的なものですよ、そういったところも必要なのかなと思っています。

それからあと、業者の話、建て替えをする場合の業者、実際に多くの業者の方が、本当にいっぱいいっぱい、とても1年、2年とかという形でかかるものですから、すぐに対応できないよという声も聞いています。

そうすると、いろんなところの建築業者さんに来てもらわなきゃいけないという中で、市のほうの当局からの答弁の、もともと建てたところをお願いしてという話がありましたけれども、昔建てた建物だと、その建築業者さんがいないという、廃業してないというものもあるものですから、そういったところに関しては、本当に今、詐欺まがいの行為でやってくる業者ってたくさんあるものですから、そこに引っかからないようにする支援というの

もやっていかなきゃいけないかなと。

だから、各自自治体で指定されている業者というのをあっせんしてもらおうというのがあれば安心できるかと思うものですから、例えば、隣の菊川市とか掛川市とか吉田町とか指定している業者さんがあれば、そういったところを市のほうの中に入ってあっせんしてもらおうということでやっていくと、市民の方も安心して頼めるんじゃないかなというところがあるものですから、それをお願いしたいなというのがあります。

あと、この間は時間がなくて言えなかったんですけども、復旧から復興への、中長期計画というものを立ててもらいたいなというところ。市のほうも立てているかもしれないんですけども、特に今回の災害に伴って、この場所じゃ住めないとか、とても建物は再建築できないので、身内だとか子供のところに行くよという方もいらっしゃる中で、地域コミュニティというのがどんどん、どんどん崩壊していく可能性もあるものですから、そういった部分で、そういった中長期計画の中に、生活再建だとかコミュニティ維持への視点も含めた中での計画というのを、ぜひ市のほうに反映してもらいたいなというふうに思っています。

私からは以上です。

**○議長（原口康之君）**

木村議員。

**○12番（木村正利君）**

私もちょっと関連してきてしまうんですけど、前回の全協で質問させてもらった部分になります人口流出、コミュニティ不足で人口が流出して転出して、そういうものをすごく危惧するところなので、その転出防止の強化を、コミュニティなり、そういういろんな形で強化をしていってほしい。とにかく転出を防止していってほしい、そういうところもちょっと要望書に組み込んでいただければと思います。

私からは以上です。

**○議長（原口康之君）**

中山議員。

**○1番（中山尚大君）**

私も前回も同じような発言をしたんですけども、例えばですけども、対策本部が今回廃止されたことについて、住民の方で、災害対策本部が廃止されたことで、市当局自体が何も対応しないんじゃないかと誤解している方がいらっしゃるだとか、がれきの搬入に関しても、浜辺のビーチだとか高台のところの搬入先がなくなったことで、がれきの搬入を受け付けてくれないんじゃないかとか、勘違いしていらっしゃる方というか、勘違いというとあれですけども、思い違いとか、情報が伝わっていないという方が多くいらっしゃるしまして、そういった方に対する説明だとかというのを、もうちょっと丁寧に、例えば、市のホームページでQAをつくるだとか、そういう場とか、もっと分かりやすく全て当局がやっていることを伝えるような場をつくったほうがいいのかなというふうには思いました。

**○議長（原口康之君）**

篠崎議員。

**○2番（篠崎朗子君）**

今回は解体のことについても、償還制度があるのかどうなのか分からずに、どんどん潰してしまったり自費で潰してしまったりという方もいらっしゃる。今回、償還制度が出たのでいいんですけれども、前もってこういうことは検討中ですか、確実な情報以外は流せないことも十分分かるんですけれども、何かしらそういった情報をやっぱり前もって流していただければいいなと思っております。

以上です。

**○議長（原口康之君）**

濱崎議員。

**○14番（濱崎一輝君）**

追加で1個忘れていたので。市のほうで、公費解体と費用償還申請の相談受付というのも開始してくれていますけれども、この1回当たりの人数が少ないということで、もっと増やしてくれないかという声が、市民の方から出ているんですね。1日でいうと、1回の時間当たりでいうと2名というところで、1日だと8名ですよ。1月15日から各枠で3組の12名という形になりますけれども、この枠の部分に関しても増やしてもらいたいという声があるものですから、それをぜひ検討してもらいたいなというところですよ。

**○議長（原口康之君）**

中山議員。

**○1番（中山尚大君）**

地元の市民の方からの声なんですけれども、こういった細かい手続で市役所に行ったときとかに市役所の方とお話をするんですけれども、そのときの対応が、本当にこれはただの感情的なお話ではあるんですけれども、冷たいみたいな、ちょっと寄り添ってくれないみたいな印象を持つみたいな方がいらっしゃるみたいで、やはりそういうところって本当にちょっとした気遣いで大分変わると思いますので、そういったところの市役所の対応に対して、もう少し寄り添った姿勢だとか優しさみたいなものを見せることで、大分印象は変わるのかなと思ったので、そこを改善していただきたいです。

**○議長（原口康之君）**

ほかは。

篠崎議員。

**○2番（篠崎朗子君）**

保育料の減免についてなんですけれども、今、全壊世帯だけで全部になっておりますが、大規模半壊、中規模半壊のご家庭においても大変な状況は続いていると思いますので、もし可能であれば、半壊ぐらいのご家庭まで保育料の減免をしていただければなという要望です。

以上です。

**○議長（原口康之君）**

ほかは。

畑議員。

**○4番（畑政之君）**

見舞金、あと支援金につきまして、申請とか審査、あと承認の際には、火災保険とかいろいろな保険があるんですが、その保険があるか否か、かけていないかというのは、やっ

ぱり審査の対象にはなっちゃうのですかね。思いまして。

**○議長（原口康之君）**

松下議員。

**○13番（松下定弘君）**

被災された方の、いろんな申請があるんですね。それは確かにすごい面倒な部分もありますし、相談窓口、担当をつくってやっていただいている、先ほど濱崎議員から言われたように、対応する人員という方もちょっと足りなかったなというのはありますし、先ほど中山議員が言われたように、対応する方たちの対応力というのにも、少し寄り添っていないかなという部分があります。

一番自分が思ったのは、相談窓口の日などを貼り出していないんですね。いつも牧之原のホームページのほうには出るんですが、実際に行く窓口のところに、そういった、いつから、何時から何時までとか開催しますというようなこと等も出ていないので、そういった部分を、寄り添う部分では必要かなと思いますし、申請に関しての、いつ届くのかというのが心待ちにしている方もいますので、そういった、半壊なのか全壊なのかという申請の種類というのをその人たちにちゃんと説明して、いつ頃まで手元に支援が来るのかというところがすごく心配されている方が多かったので、そういった、全般的に言うとそこを寄り添った部分というのが、もう少し必要だったかなと自分は思います。

**○議長（原口康之君）**

中山議員。

**○1番（中山尚大君）**

こちら市民の方からの声なんですけれども、市民の方で、今回竜巻が起こって、これも私、前回の協議会でも少し話したんですけれども、4年前に竜巻が起こって今年も起こったということで、市民の方で、また今後も来年もしくは今後何年間おきぐらいに、こういった災害が起こるんじゃないかということをお心配していらっしゃる方というのは非常に多くいらっしゃると思います。前回、市長からの返答として、本当に竜巻の場所はどこに起こるか分からないのでというお返事をいただいたんですけれども、市長の個人的な、やはり市長って別に竜巻の専門家でも何でもないの、あくまで個人の返答でしかないの、そういう具体的に竜巻に詳しい専門家の意見を聞いて、例えば、牧之原市の地形とか、そういったものも全て含めた上で検討して、牧之原市が今後、竜巻が起こりやすい地形なのか、それともそうではないのかというのを明確にしたほうがいいのかなどは思いました。

**○議長（原口康之君）**

木村議員。

**○12番（木村正利君）**

なかなか今、中山議員のご意見とあれなんですけど、一つは絹村議員が言ったように、やっぱり人口流出というのが一番懸念されるところで、確かにその検証を今後明らかにしてしまうと、要は牧之原市って竜巻来るよねと思うと、間違いなくほかの人が来る環境というのは難しいかなと、私は個人的にはそう思います。

そうした中で、私はさっき言ったとおり、4年前の検証と、いろんなところをもうちょっと見える化して、今回の竜巻事故を含めて、やはり行政側として、今回、藤田スケールの3、また一部の資料にも載っているんですけど、一部大学の教授が言うと、それ以上だ

よということが起こったという事実があるので、やはりこのところの人口流出を避けるためにも、前回4年前にあった、一つは私も言ったんですけど、前回のときは5月1日にありまして、災害仮置場を12月までは残していたけれども、今回いろんな事情の中で、静波からまた高台に向けてという中で、いろんな課題がかなり見えてきていると思うんですけど、それで10月26日に実際閉鎖したそのときの報告としても、地域の今回被災は坂部を含めて、静波区、それから細江区、細江区が一番大きかったんですが、そういったところの対応の中で閉める通告も、地区長会で報告されたのが10月の頭なんですね。それで、その地区長は地域に戻りまして、町内会長会議をやったという中で、26日がありきで来た報告が、現実的に市民のためじゃないですが、それが各町内会に戻ったときには、大体そのスケジュールでいったら、23日から25日にその班長会議をやると。それで班長会議から各地元住民に回覧されるわけですよ。そのときにはもう閉まっちゃっているという状況が現実あったわけなんですけど、そういったいろんな細かいところの検証というのが、どういう形でというのは、やっぱりこれから議会としても、当局に向けて、4年前の検証と報告を要望したいなど、私は思っているわけなんですけど。

また、地域で言いますと、細江区も今、実際、区長を中心に評議員の方々が、やっぱり起こった9月5日から26日までの対応を全部今、資料でまとめてくれています。ただ、これが今、細江区だけの問題ではないし、一部、静波区を含めて全部、この前回のときは地頭方のところを含めて高台が起こった事実というのも事実なものですから、やはりぜひ、そのの当局としてそれをきっちり見える化していただいて、その検証をやっていただくということの中の対応をしていただく。また、そういったものを議会として、ぜひ、私したら進めていただきたいなど、こういうふうに思っています。

以上です。

#### ○議長（原口康之君）

篠崎議員。

#### ○2番（篠崎朗子君）

先ほどの竜巻の検証についてなんですけれども、中山議員からの発言なんですけれども、私はその経過について報告というものを、市民の方々に不安をあおる必要はないとは思っている。ただ、立地適正化計画がこのまま進んだとしたら、そういうところでさりげなく市民を誘導するというような形も取れると思うので、そういった研究というのは進めていただければなと思っています。

以上です。

#### ○議長（原口康之君）

中山議員。

#### ○1番（中山尚大君）

今、私の意見に関連でいろいろいただいたので、私の意見を述べておきますと、竜巻が今後起こることによって、今後竜巻が起こりやすいみたいな検証がされることで、牧之原市の名が落ちるのではないかとか、もしくは人口流出が進んでしまうんじゃないかという懸念があるというお話だったんですけど、やはりここで最優先するのは住民の方の安心安全であって、そのために、どうしてもそういうあまり牧之原市にとってネガティブな検証がされたとしても、人口流出が進んでも、それは致し方ないのではないかな

というのが私の気持ちです。

**○議長（原口康之君）**

石山議員。

**○8番（石山和生君）**

今回恐らく要望書を出すというスケジュール感も含めて、分かれるようなもの、意見が。意見が分かれるようなものは継続して話すということで、今回の要望書に関しては、今出ている中で、反対ないわなみたいな。というものを出していくというような理解で、ちょっと時間もないので、今どんどん深いところに入っていくのは、もうちょっと要望書を出した後に継続して。そうじゃない、今回の要望書でということであれば、またそれはそれでご意見いただければいいと思うんですけど、そういうふうに、僕は今話を聞いていて思いました。

**○議長（原口康之君）**

出縄議員。

**○5番（出縄耀戸君）**

災害当時からなんですけれども、牧之原市のほうからLINEに届く情報について、申請ほか、がれきの場所もそうだったんですけど、LINEを見にくいご高齢の方がとても多くて、あと、情報を見ようにも次から次に来るので、探すのが大変だという声をすごく聞きました。

それで、LINEを見れる方も見れない方も含めて、申請とかそのほか等々のことを市民の方、被災地の市民の方に知らせる方法が何かないかなと思ひまして、お考えくださいばいいと思います。

**○議長（原口康之君）**

名波議員。

**○10番（名波和昌君）**

今の関連もあるし、皆さんからいろいろお話が出ている中で、やはり市民の方に行政がやっている情報が的確に伝わっていないというのは、この竜巻災害だけじゃなくて、ほかのものも常に自分としては危惧をしていて、特にLINEで発信していますよ、ホームページに出しますよと、よく行政の方ってそういう答弁をするんですが、それだけで本当にいいのかなと。

特に今回、災害に遭われた件数って2,000件弱であれば、例えば細江区の自治会の皆さんに協力を仰いで、すぐに各戸配布するとか、そういうことも一つは、大変ではありますすが、必要ではないかなというふうな気持ちでいます。

それをやることによって、LINEを見なくても、ホームページを見なくても、紙で見れるという、そういう体制もできるんじゃないかなと。それで情報の行き違いということもちょっと減ってくるんじゃないかなと、そんな感じがしています。

**○議長（原口康之君）**

ほかは。

鈴木議員。

**○7番（鈴木長馬君）**

被災された建物の、それについての固定資産税というのは、控除されているかどうかと

いうことはちょっと分かりませんが、その辺について通常に徴収するようでしたら、その辺を考慮して。

**○議長（原口康之君）**

減免です。

ほかは。

絹村議員。

**○9番（絹村智昭君）**

先ほどから、中山議員とかの情報のところですけども、ここは情報提供が本当に大切だということを今回出ているので、それで特に現地での説明会だとか、行政との意見交換、そういうのを常に、新しい情報がどんどん出たときには、そういう、本当にこっち側のさざんかだとか、車を使えない方の高齢者なんかもいるので、本当、現地、細江のコミュニティセンターがあるので、ああいうところで実際やっているときもありますけど、随時やっていてもらいたいなという、そういうちょっと情報の伝達というところで強化してもらいたいなというところを入れていただきたいと思います。

以上でございます。

**○議長（原口康之君）**

かなり情報が重複している部分があると思うので、少しその辺を整理して、皆さん発言をお願いします。

菅沼議員。

**○6番（菅沼保弘君）**

災害というものの自体に対して、市の取組というのは非常によくやってもらっているんですけども、被災された方が例えば住居を失っているのに、住むところあるよというところと、場所は取れているけれども住めないという人もいます。そういう人たちになるべく早く、災害に対する対応をしてやりたいなと思うんですけど、今、支援金なんかも今日の話だと、30%が3月末ぐらいに配布されるでしょうと。それだと本当にお金を持っている人だったら、私がたまたま見に行ったところは、お金があって社長さんだからすぐ対応しますと。うちは建て直すというところまで、近いくらいまで直しているんですけど、そこら辺が行政のタイミングと、お金がない人たちが非常に苦しんでいるという、そこを何とかもうちょっと早くならないかなという仕組みづくりをちょっと考えてもらえればと思います。

**○議長（原口康之君）**

加藤議員。

**○11番（加藤 彰君）**

ちょっと質問というか、自分もそういうふうに思っている面があるもので、もうちょっと詳しく知りたいという意味で、濱崎議員が言われた復旧復興への中長期的な計画みたいな、もうちょっとイメージというか、知りたいなと思いました。そういう中に、例えばコミュニティとか、転出の防止みたいな、そういったことも入ってくるような、その辺ちょっと分かる範囲でお聞きしたいなと思います。

あと、今出ている意見で補助金をつけますよみたいな、そういった対策をしているんですけども、ちょっと不足している面みたいな、そういう分類ですよ。もう一つ、情報提

供みたいな、そういった面も当然あるよということで、もう一つ、教訓を活かしたいみたいなことと言うと、今やっている防災訓練とか、そういったものがそもそも、どうなのかなということも少し見直してもらいたいなと。

というのは、実は具体的に青池と時ヶ谷とかで、時ヶ谷だと難しいのかもしれないですけど、結構、自治会の動き方が違ったというのを聞いたんですね。要するに、防災訓練をしっかりとしているところは割合動きがよかったという、そういうことは聞きました。ですので、やっぱり訓練って重要なんだろうなと思いました。ですので、今回の教訓としてやっぱり防災訓練みたいなものをしっかりとやっていくということを、改めて考えてもいいのかなと。

もう一つは、ちょっと細かい話になっちゃうんですけど、避難所のほうに逃げてきたという方が、障害をお持ちの方とかで入れなかったというのが実際あったんですね。ですので、その辺はちゃんと行政側と整理してもらって、福祉施設があると行ったら使えない、だからもうちょっと避難所の運営なんかが改良できないのかみたいな、その辺については、津波とか、今後の話とか、竜巻だけじゃないのであれですけど、そういうことも含めて少し何か考えてもらえないのかなとちょっと思いました。

例えば、もしかしたらその人にとっては大事なペットとか、ああいうのも実は連れていけないから壊れたうちにいたとか、そういうのを聞いたものですから、やっぱりそういった、ある面、大きなことではないかもしれませんが、少し配慮をできるようなことがあるのかなと。そうなってくると、戻りますけど、中長期計画みたいな中にしっかりと考え方を盛り込んでいくというのが重要なかなという気もするものですから、少し濱崎議員が言われたその辺ちょっと、ある意味重要な点かなという気がするので、もしイメージとか、お願いできればなと。

#### ○14番（濱崎一輝君）

私の考えている中長期計画というものなんですけれども、市として復興計画を位置づけた中長期計画、多分恐らくですけど、市のほうもつくっていくのかなという感じはするんですけれども、その中で、地域防災計画の中で特に今までなかった竜巻災害に関するものを入れていくよという話は聞いていますけれども、そういったのも当然大事ですけども、生活再建だとか地域再生といった復興というのは、なかなか網羅できていない、できそうもないのかなという感じはするんですね。ですから、復興計画の中に独立した章だとか指針というものを位置づけて、被災地の人口流出や生活再建というものを明確に盛り込んでもらいたいなという、そういう意図で私のほうは考えています。

#### ○議長（原口康之君）

絹村議員。

#### ○9番（絹村智昭君）

今回の竜巻の災害で、細江コミュニティセンターが避難所になったんですけど、雨ですごい雨量で、あそこのところに入れられない状態になっている。車も入れない。そういう、要は施設の検証と、施設の改善を要望に織り込んでいただきたい。

細江コミュニティセンターだけでなく、ほかの地域の避難所となり得るところも、そこを一度検証していただいて、今後の災害対応に対応していただけるような要望をお願いしたいところです。

以上です。

**○議長（原口康之君）**

石山議員。

**○8番（石山和生君）**

すみません、要望の話じゃなくてさっきの話で、情報提供というところがすごい結構鍵になっているという話があって、さっき細江のほうで回覧とか、そういった全戸配布みたいなのをやったらいいんじゃないかみたいな話がありましたけど、実際今どんな感じなんですか。

**○12番（木村正利君）**

今のことで、具体的にお話しさせていただきますと、被災したところが一部損壊から広範囲にわたっているんですけど、特にひどい時ヶ谷地域におきましては、班長さんとか回覧が、町内会長さんのお宅もかなりやられちゃってましたので、実際そういったことってかなり難しかったかなと、現実。

それともう一点、先ほど加藤議員がおっしゃってくれたように、地域防災のところで、青池町内会というのは本当に組織が訓練されていまして、起こったときも分担されて道路の復興は地域の方が、車持っている人行ってそこへ出してきて、本当に市がやっていた、県友会の皆さんがやってくれたことと同じ状況を青池町内会の方たちは率先してできたかなということの中では、その防災訓練の個別というものの見直しを改めて市に要望することの中で必要かなと。

さっき言ったように、地域で被災されちゃうと、連絡状態が取れなかったという。

**○8番（石山和生君）**

LINEやホームページで載っている情報というのは、アクセスしないと実際の細江の方々も、本当は必要な人もやっぱりたどり着かないということが、今の話だと起きていたと。絹村議員はどういう。

**○9番（絹村智昭君）**

自分は青池の人間です。青池町内会の人間ですけど、被災した5日の午後は晴れてきたんですよ、雨が上がって。そのときの行動が、LINEとかホームページじゃなくて、地域のコミュニティ。そこにふだんやっている防災訓練なんかの防災長がいて、それに声をかけて一斉に今いる衆、家にいる衆がばっと出てきて、次の日も土曜日だったので、中学生、高校生がばって、みんなで片づけしようという。

それで、一応、牧之原市の中でも、青池町内会は細江区の中でも一番人口が多い中で、建設関係の方とかそういう人たちがトラックを出していただいて、そういう中で対応したという。やっぱり本当にふだんの地域防災、防災訓練だとか、そういうのにすごい力を入れているところが大切になってくる。

なので、ふだんの、先ほど加藤議員が言われたとおりの、ふだんの防災訓練ってすごい大事なんだな、大事だよというのは、とにかく参加していただいて位置づけさせていくということが、ふだん日頃からそういうことが大事なのかなというのを思っております。

**○8番（石山和生君）**

若干聞きたかったこととストレートではないんですけど、要するに、訓練していたらできたというのは、それはすばらしいことであれんですけど、訓練できていなかったとし

て、情報が本当は必要な人にどう伝えるんですかという話が重要なところかなと思っていたので。

結局、そういうLINEやホームページに載っているような細かい情報は、おうちに紙として来てはいなかったということでもいいんですよね。

### ○事務局長（前田明人君）

市の災害対策本部のほうに出ていたものですから、少し補足させてもらいたいと思うんですけども、情報提供に当たって、市のほうにもちょっとLINEとかだと見れるばかりじゃないというような、それこそ携帯の充電もサービスでやったぐらいな話なので、なかなか難しいというような話は来ました。

それによって広報といいますか、広報班のほうでは、なかなか全戸配布といっても、配る方法が今言われたとおり、区の役員の方も被災されていますので、これをやっているところじゃないとか、自分のお宅の対応をするだけで精いっぱいというのがあったので、細江のコミュニティセンターに拡大コピーしたものを貼り出すとか、公民館のところに貼り出すとか、スーパーとか、だんだん後ろになるにつれて、スーパーとかそういうところへ買い出しも行けるようになってきたので、そういったところに情報を貼り出すとか、あと、ボランティアで今回、DMATが来てくれて、被災者世帯を全て回ってくれています。それこそ千何百件とかという形で回っていますけれども、それでも会えた方がそのぐらいいるということで、そのほかも含めるともっとすごい数を回っているということなんですけれども、そのお宅にはお話を聞きに行くときに、そのときそのときの市の最新の情報を紙に印刷したものを手渡ししてもらいながら回ってもらっていました。それで、いない方にはポストインというんですか、させてもらってやっていたということで、できる範囲での努力はしてきたつもりではいるんですけども、ただ、情報というのは全て伝わるというのは本当に難しい話なので、今後いろんなことを検討するとかというのはあるとは思いますが、全てとはいいませんが、それなりの対応はしてきたつもりということで、一応報告だけさせていただきたいと思います。

### ○10番（名波和昌君）

全然角度が違うんですけど、災害ボランティアセンターが榛原のほうに開設されて、社会福祉協議会の皆さんが運営をしていて、自分もちょっと参加させてもらったんですが、ボランティアコーディネーターさんという方が中にもいらっしゃるんですけど、そのボランティアコーディネーターさんがほとんど高齢者、70を超えているような高齢者になってしまっていて、なかなか皆さん、健康的にも大変だというようなお話を聞きました。

たまたま自分も去年、ボランティアの一員になっているんですけど、そういう、ボランティアコーディネーターさんをもう少し育成していけば、社会福祉協議会の皆さんの負担も少し減ってくるのかなということを、現場では自分も感じました。

なので、そういったことも一つ考えてもらいたいなということがあります。

以上です。

### ○議長（原口康之君）

皆さんから出された意見につきましては、議運で協議をして、少し要望書をまとめたいと思います。しかしながら、完全に決まっていないようなこともあるかと思っておりますので、これからという、まだ、市も今の補助金とかそういったものに関しては、これからという

ところもありますので、そういう部分も含めて、まだ市が報告をいただきたいものというのはやはりあると思うので、個人の意見、今出していただいた意見が全て反映するわけではないということも、今回の要望の中でご承知おきください。

---

## 5 その他 (1)

### ○議長（原口康之君）

それでは以上になりますが、そのほか。

石山委員。

### ○8番（石山和生君）

全てはできないにしても、引き続きやってくということですよ。なので、そこで切っちゃうとか、そういう話ではないということですね。

### ○議長（原口康之君）

すみません、今の石山委員の言うとおりで、ずっと引き続きこの件に関しては報告も求めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

事務局、いいですか。

それではこれで全員協議会を終了します。ご苦労さまでした。

[午後 12時05分 閉会]